

令和 8 年度 杏林大学総合政策学部杏会定期総会 議事に係る説明

● 第一号議案 令和 7 年度事業報告について【資料①】

1. 会員関係：杏会役員会は令和 7 年 5 月 10 日に行い、定期総会は令和 7 年 6 月 28 日に開催致しました。慶弔関係は、会員の逝去に伴い弔慰金の支払いを実施いたしました。
2. 教務関係：地域連携型学習（CBL）、電子教科書導入、資格講座・試験への助成を行いました。課外活動（ゼミ合宿）、プレゼミナール活動（TOEIC 試験）への助成を行いました。
3. 学生部関係：クラブ団体への活動助成を行いました。杏林祭（学園祭）は前年度よりコロナウイルス感染拡大前に近い規模での開催となったため一定額の補助を行いました。
学生生活において、インターンシップ等で先方の物を壊した場合や不可抗力で誰かに怪我をさせてしまった場合などに備え補償制度「Will」（東京海上日動）保険の補助を実施しました。また、健康医療相談「こころのサポートシステム」に加入しました。
また、海外留学への一部助成を行いました。
4. 就職関係：実際の企業の採用担当者等をお招きしてより実践的な指導を受ける就職トライアルやインターンシップや産学連携キャリア支援交換会、就職筆記試験対策を実施しました。
5. 卒業関係では、卒業アルバム製作、卒業記念品に助成しました。なお、卒業式、学位記授与式は 3 月 15 日に挙行し、同日開催されました卒業記念パーティーに対して補助を行いました。
6. その他では、総合政策学部、外国語学部、保健学部の 3 学部合同で災害時の備蓄品を購入しました。また、キャンパス整備として、キャンパス内で休憩時間等に学生が寛げるようベンチの整備をいたしました。最後に監査法人による杏会会計監査も行いました。

● 第二号議案 令和 7 年度決算について【資料②-1 ②-2 ②-3 ②-4】

1. 一般会計の収入は会費収入 995 名分 19,910,000 円に受取利息を合わせ収入合計は 19,940,125 円となりました。前期繰越金を含めた収入総額は 30,177,816 円です。
2. 支出につきましては総額 26,228,486 円となり次期繰越金は 3,949,330 円となりました。（資料②-1 令和 7 年度収支決算書）特別会計の記念事業積立金は 200,000 円を一般会計から繰り入れました。
（資料②-2 令和 7 年度特別会計収支決算書）役員監査を令和 8 年 5 月 16 日に実施し、会務が適切に執行されていることが認められました。（資料②-3 監査報告書）これに基づき財産は、一般会計、特別会計の資産合計が 12,831,133 円で負債の未払い金は 0 円、次期繰越金が 12,831,133 円となりました。（資料②-4 財産目録）

なお、令和 7 年度当初予算案より、公認会計士の指導を受け一部支出項目の変更が発生しましたことをご報告いたします。当学部在学生の保護者より令和 5 年度に行われた杏会総会の運営方法について疑義があり、総会の無効と杏会費の返還を求める訴訟があり、令和 7 年 12 月下旬に原告の主張が却下され、杏会側の全面勝訴の判決が出て結審いたしました。

この裁判をご担当頂いた弁護士への報酬（総額 109 万円）について、当初予算案では会議費（900,000 円）と予備費（500,000 円）より支出することを予定しておりましたが、公認会計士より弁護士費用は会計処理上「支払手数料」の項目から支出することが適切であるとの指導を受けました。そのため「会議費」及び「予備費」に計上していた弁護士報酬 109 万円を「支払手数料」に移動

することとなりました。(予算総額に変更はありません)

この件につきましては、臨時の役員会を令和8年3月5日にメールにて開催し、3月12日までに過半数の役員の方にご承認を頂きましたので、杏林大学総合政策学部杏会会則第15条の規定に基づき杏会予算に対する支出項目の一部変更を行うこととなりました。

● 第三号議案 令和8年度役員の改選について【資料③】

令和8年度の役員を上程致します。今回卒業された2名の方及び再任を辞退された方1名を除く前年度役員に再任をお願いし、新1年生の保護者様から3名(浅野徹様、飯沼寛量様、芳須真樹子様)を選出させていただきます。選出は、役員会等で来校の必要性を考慮し、関東在住の方を中心に個別に依頼しご承諾を得る方法で行いました。会長、副会長、監事は再任役員の互選により選定しました。

● 第四号議案 令和8年度事業計画(案)について【資料④】

令和8年度事業計画(案)を上程します。令和7年度からの事業計画についての変更はありません。

1. 会員関係では、ホームページに学部の様子を発信する計画をしています。杏林祭(学園祭)を本年10月10日、11日の土日で開催します。時期が参りましたら会員の皆様に、ご招待の案内を致します。慶弔関係につきましては、対象となる事柄が起こり次第、適宜致します。
2. 教務関係では、「地域連携型学習(CBL)」「電子教科書導入」「資格系講座・試験への助成」も引き続き助成をお願いしたいと考えております。「地域連携型学習(CBL)」は、学年の若いうちに(1~2年生)、国内各地域に留学をしてもらい、その経験を再び大学に戻ってからの学びに生かしてもらおうとする取り組みです。これに伴い、学生の移動にかかる費用等に、助成をお願いしたいと考えております。また、ゼミナール合宿等に参加する学生への助成、プレゼミナール活動の中で実施するTOEIC試験費用の助成を引き続きお願いしたいと考えております。
3. 学生関係では、クラブ活動への助成を引き続き行なうとともに、学生賠償保険については、総合補償制度「Will」保険に加入し万一の際の対応に備え助成をしたいと考えております。また、電話による健康医療相談「こころのサポートシステム」についても継続して加入助成を行っていきたいと考えております。また昨年度新たな試みとして井の頭キャンパスの食堂においてカレーライスを1日100食限定で学生割引を実施し好評でしたので、今年度は対象商品をからマヨ井として1日100食限定で1食あたり300円サポートすることを考えております。必要な費用は総合政策学部のほか、保健学部、外国語学部の3学部の学生数で案分いたします。
4. 就職関係では、企業人事担当者と大学との情報交換会でありますキャリア支援交換会を実施予定であります。また、インターンシップ・企業訪問への助成、就職筆記試験対策としてSPI・一般常識試験の助成と併せてお願いしたいと考えております。
5. 卒業関係では、例年通り、卒業アルバム制作、卒業パーティー、卒業記念品への助成をお願いしたいと考えております。
6. その他、緊急災害時における備蓄用品の更新等及びキャンパス整備費、外部監査の実施学業意欲があるにも拘わらず経済的理由で学業継続が困難である学生への助成についても、引き続きお願いしたいと考えております。

● 第五号議案 令和 8 年度予算（案）について【資料⑤】

令和 8 年度事業計画（案）に基づき、令和 8 年度予算（案）を上程いたします。予算については数年前、一般会計の繰越金が 1 千万円に迫る程に、周年記念事業特別会計の繰越金は 1 千万円を越える程に膨れ上がり、外部監査を頼んでいる監査法人から「こんなに多額の繰越金があってはいけない。もっと学生支援として還元するように」との指導を受けました。そこでこの数年、これまで以上に学生支援に還元してきた結果、一般会計については適正な水準まで繰越金を下げることができました。また特別会計については、令和 6 年から 3 年間の会計として学部創設 40 周年記念事業を行いました。これは授業の教科書に使用している学部スタッフ全員の 2 つの著作の改訂版出版と 40 年史の編纂です。学部に戻元できるものを、ということから、前者については刊行後に学生全員に配布しております。しかしながらまだまだ特別会計については繰越金が多い状況は改善されていません。そこで、今年度予算において 3 百万円を一般会計に繰り入れるとともに、次年度以降は一般会計については多少支出を抑える対応をしたいと思えます。

一般会計の収入は 5 月 1 日時点の在学生 1,010 名分（昨年度より 15 名増）の会費 20,200,000 円その他、受取利息及び前年度からの繰越金及び特別会計からの繰越金を合わせ 27,152,330 円を計上しております。

支出につきましては、おおむね昨年度の実績に基づいておりますが、昨今の物価高騰などを背景に諸経費の負担も増加傾向にあることを受け、昨年度の支出実績を基に一部の事業について実態に合わせた予算編成を行いました。

学生部関係費は食堂商品の学生割引の補助を継続するため 200,000 円増額しております。クラブ費は昨年度の支出実績額と同規模に修正（1,000,000 円減額）するとともに、緊急時特別奨学金については、日本学生支援機構奨学金や杏林大学内にも類似の支援制度があるため過去の同制度の利用状況を鑑み 700,000 円減額の見直しを行いました。

これにより一般会計の令和 8 年度の収支状況は、当期収入合計額 27,152,330 円に対して当期支出合計額は 26,846,000 円となり、次期繰越金が 306,330 円となります。

また特別会計の記念事業積立金については、令和 6 年当初 7,700,000 円を基金とし、これまでに 40 周年記念事業として企画された『教養としての社会科学』と『ポストコロナ社会と SDGs』を刊行し、今年度は 40 年史の刊行を残すのみとなり 800,000 円の予算計上いたしました。

以上、ご審議をお願い致します。